

メキシコにおける米・水産物の今後の展開

在メキシコ日本国大使館

浦田 博揮

1 日メキシコ間の農林水産物・食品輸出の現状

- (1) メキシコにとって、日本は米国に次ぐ第2の農林水産物・食品の輸出先国(1,356百万ドル)。特にメキシコが輸出する豚肉の約7割近くが日本へ輸出されている。食料安全保障の観点からもメキシコは日本にとって重要な国の一つ。
- (2) 他方、日本からメキシコ向けの農林水産物・食品の輸出額は、メキシコから日本への輸出額の1%程度に留まっている(13百万ドル)。
- (3) メキシコにおいては、ここ数年で日本食が大変人気を博している。これに伴い、日本食レストラン数も急増しており、中南米で最も多い店舗数を有するまでに発展している(約7,000店)。今が輸出拡大のチャンス。
- (4) ビジャロボス農業大臣が訪日し、3月1日には坂本農林水産大臣との会談が行われた。また、3月5日から東京で開催された「FOODEX JAPAN 2024」にはメキシコから複数の州知事が参加するなど、農業分野における日メキシコ関係は密接になりつつある。
- (5) このようにメキシコは、メキシコ産の農林水産物・食品の輸出拡大に向けて積極的にアプローチを行っているところ。日本も日本食の普及及び両国間の要人往来といった状況を踏まえ、積極的にメキシコへ輸出拡大に向けた対応をとる必要がある。

2 日本産精米

プレスリリース

本日からメキシコ向け日本産精米の輸出が可能に！

メキシコの植物検疫当局との間で、同国向け日本産精米の植物検疫条件が合意され、本日3月17日（金曜日）（現地時間16日）に同国への精米の輸出が解禁されました。



- 2023年3月17日にメキシコ向け日本産精米が輸出解禁（商業用貨物）
- 2023年の日本からメキシコへの精米輸出量は133トン、2024年1月の輸出量は、45トンと月平均では最大量。（出典：貿易統計）



- 5月30日（メキシコ時間）に輸出解禁ワークショップを開催
ビジャロボス農業大臣も参加
- 本年も、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会が当地におけるコメ・コメ関連食品プロモーションを検討中。

3 水産物(ホタテ)

(1) 本年2月に開催した天皇誕生日レセプション



- 来場者には、ホタテを含む日本産水産物を提供。
- 当地の日本食普及の親善大使による調理の実演。

(2) 日本産水産物衛生管理等講習会(本年2月開催)



- 講習会では、水産物の取扱上の衛生管理及び調理方法の講義の他、調理デモンストレーションが行われた。
- 受講者に対して、日本産ホタテ(北海道産)等の刺身が試食としてふるまわれた。

(3) 本年3月にメキシコ(エンセナダ)におけるホタテ代替加工地を視察するためのミッションが日本から派遣される。
日本から関心を寄せる企業が参加。

4 その他

農林水産物及び食品の輸出の促進に関する実行計画(抜粋)

No	対象国・地域	対象となる事項	現状	対応スケジュール						輸出可能性	担当大臣
				2月	3月	4月	5月	6月	7月以降		
54	メキシコ	ストック種子の輸出解禁	日本から提出した情報を基にメキシコ側で病害虫リスク評価を実施中。((一社)日本種苗協会が協議を要望)	<p>農水省は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコに対してリスク評価の進捗を定期的に確認し、早期の回答を促す。 ・メキシコ側から追加情報の提出要請があれば速やかに対応。 						0.4億円程度	農林水産大臣
55	メキシコ	トルコギキョウ種子の輸出解禁	日本から提出した情報を基にメキシコ側で病害虫リスク評価を実施中。((一社)日本種苗協会が協議を要望)	<p>農水省は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコに対してリスク評価の進捗を定期的に確認し、早期の回答を促す。 ・メキシコ側から追加情報の提出要請があれば速やかに対応。 						0.6億円程度	農林水産大臣
56	メキシコ	日本産牛肉の施設認定権限の委譲	<ul style="list-style-type: none"> ・施設認定には、メキシコによる査察が必要。(※日本産牛肉は2014年2月に解禁済み) ・2023年1月～2月にメキシコ側による新規施設認定のため現地調査を実施。〈新規認定施設の追加〉 ・2023年8月にメキシコ側より施設の現地調査結果に関する報告書案を接受。 ・2023年11月に報告書案に対するコメントをメキシコ側に送付したところ、12月にメキシコ側より最終報告書を接受。 ・現在、現地調査実施施設において、指摘事項に対する改善措置を検討中。〈施設認定権限の移行〉 ・2022年12月にメキシコ側より施設認定権限の移行に関する質問票を接受。 ・2023年1月にメキシコ側に質問票の回答を送付したところ、5月にメキシコ側より追加質問を接受。 ・2023年11月にメキシコ側に追加質問への回答を送付済み。 	<p>【対応方針】 厚労省及び農水省は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定施設の追加については、メキシコ側の現地調査結果の最終報告書を受けて、施設側で検討している改善措置等について、その報告を受け対応。 ・施設認定権限の日本側への移行については、メキシコ側からの回答を待つて対応。 						—	厚生労働大臣 農林水産大臣